

練習問題

- 1 次の各文の「」にあてはまる言葉を答えなさい。
- ① 自立語で活用のある品詞は、「」() () ()の三つである。
- ② 自立語で活用のない品詞のうち、主語になるのは「」、修飾語になるのは「」、接続語になるのは「」、独立語になるのは「」である。
- ③ 付属語で活用のある品詞は「」、活用のない品詞は「」である。
- 2 次の中から、自立語の性質を表しているものをすべて選び、記号で答えなさい。
- ア 一文節の中に一つだけある。 イ その語だけで文節を作れる。
- ウ 一文節の中に一つもない場合がある。 エ 常に文節の最初にある。
- オ その語だけでは文節を作れない。
- 3 次の各文から、自立語と付属語を抜き出しなさい。
- ① 空気 は 冷たく、爽やかだ。
- 自立語 () 付属語 ()
- ② 大きな 朝顔 が みごとに 開いた。
- 自立語 () 付属語 ()
- 4 次の各文の「」にあてはまる言葉を後から選び、記号で答えなさい。
- ① 活用とは、後に続く言葉によって「」の形が変化することをいう。
- ② 活用するときに変化しない部分を「」、変化する部分を「」という。
- ③ 活用形には、まだそうならないときの形である「」、主に動詞・形容詞・形容動詞に続くときの「」、主に名詞に続くときの「」などがある。

ア 活用語尾 イ 単語 ウ 語幹
エ 連用形 オ 連体形 カ 未然形

5 次の活用形に続く言葉を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 未然形 () ② 連用形 ()
③ 連体形 () ④ 仮定形 ()
- アば イない・う・よう ウとき エます・た・て

6 次の文の「」部の自立語から、活用のあるものすべてを選び、記号で答えなさい。

ア 初めて 登った 高山の 美しくも 神秘的な 風景に 言葉を 失った。

発展問題

1 次の文の各文節から、後の①～③にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

- 大雨で 道が 崩れたと 聞き、()までで 引き返す ことに なった。
- ① 自立語だけで、付属語がない文節。 ()
② 自立語に付属語が一つだけついている文節。 ()
③ 自立語に付属語が二つ以上ついている文節。 ()

2 次の文章を／で文節に分けなさい。また、各単語から、後の①・②にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

ア 静かな 夜 だ。 オ 朝 から 激しい 雨 も 大きな 顔を 出している。

シ あがり、鏡 の ような 満月 が 雲 の 間 から 大きな 顔を 出している。

- ① 自立語で活用のあるもの ()
② 自立語で活用のないもの ()

1 ≪ 36～37ページ

ヒント 単語は文法上の性質によって、自立語と付属語に分けられる。それぞれ活用があるかどうかや働きなどによって、さらに分けることができる。

2 ≪ 36～37ページ

ヒント 自立語は文法上の性質によって、自立語と付属語に分けられる。それぞれ活用があるかどうかや働きなどによって、さらに分けることができる。

3 ≪ 36～37ページ

ヒント 自立語は文法上の性質によって、自立語と付属語に分けられる。それぞれ活用があるかどうかや働きなどによって、さらに分けることができる。

4 ≪ 38～39ページ

ヒント どの言葉が続くかは品詞によっても異なる。ア～エは主に動詞の活用形に続く言葉。

5 ≪ 38～39ページ

ヒント どの言葉が続くかは品詞によっても異なる。ア～エは主に動詞の活用形に続く言葉。

6 ≪ 36～39ページ

ヒント 活用があるかどうかは、後に「タ」「バ」などをつけて形が変化するかによって確かめる。

1 ≪ 36～37ページ

ヒント 文節を言葉としての最小の単位である単語に分けて考える。自立語の活用語尾がどこまでかは、後に「ナイ」「タ」などをつけてみて判断する。

2 ≪ 36～39ページ

ヒント 自立語を見分けるには、まず、文節に区切ることを出している「」は補助の関係(15ページ)で二文節。次に、文節の最初にある単語に着目すること。それぞれ活用があるかどうかも確かめる。補助の関係(15ページ)で「の」「へ」「み」「の」は自立語。活用のある自立語。